

地場産業および伝統的工芸品についてのアンケート結果

県では、「近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する条例」を平成 28 年 3 月に施行し、地場産業や伝統的工芸品を支援する様々な事業に取り組んでいます。

これらの取組を通じて、本県の地場産業と伝統的工芸品について、県民の皆さんにどの程度認知されているか、経年による変化の把握と今後の事業の参考とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

★調査時期:令和8年2月

★対象者:県政モニター299人

★回答数:251人（回収率 83.9%）

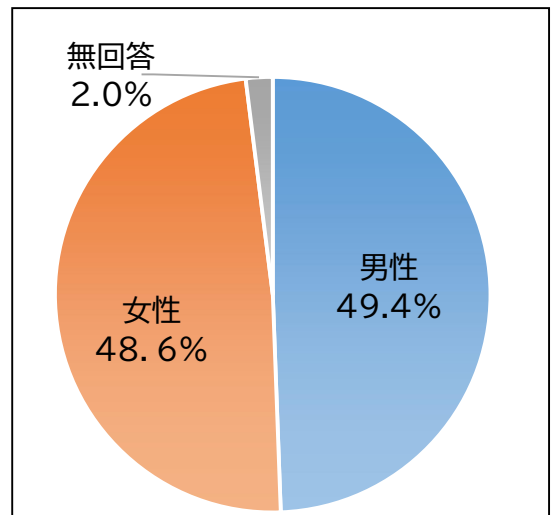
★担当課:イノベーション推進課

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【属性】

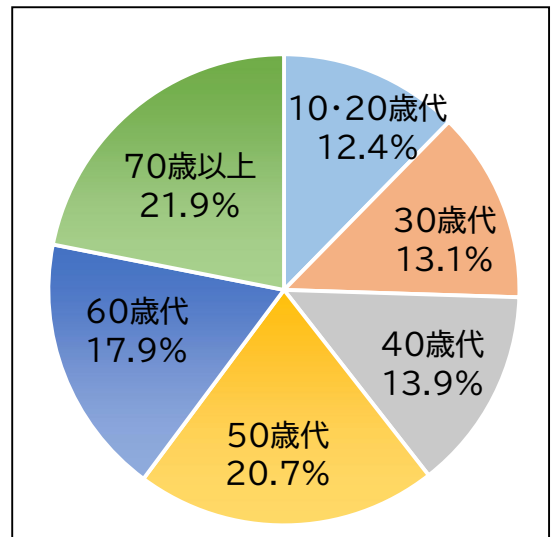
◆性別

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|-------|
| 男性 | 124 | 49.4 |
| 女性 | 122 | 48.6 |
| 無回答 | 5 | 2.0 |
| 合計 | 251 | 100.0 |



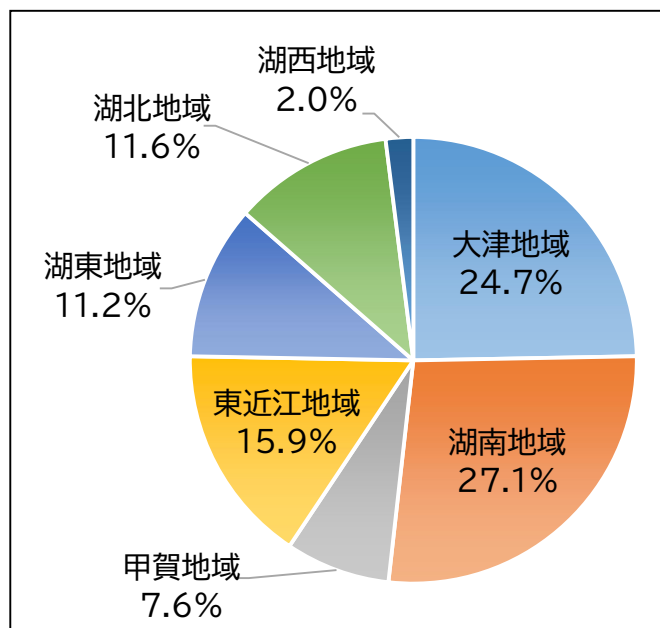
◆年代

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 10・20 歳代 | 31 | 12.4 |
| 30 歳代 | 33 | 13.1 |
| 40 歳代 | 35 | 13.9 |
| 50 歳代 | 52 | 20.7 |
| 60 歳代 | 45 | 17.9 |
| 70 歳以上 | 55 | 21.9 |
| 合計 | 251 | 100.0 |



◆地域

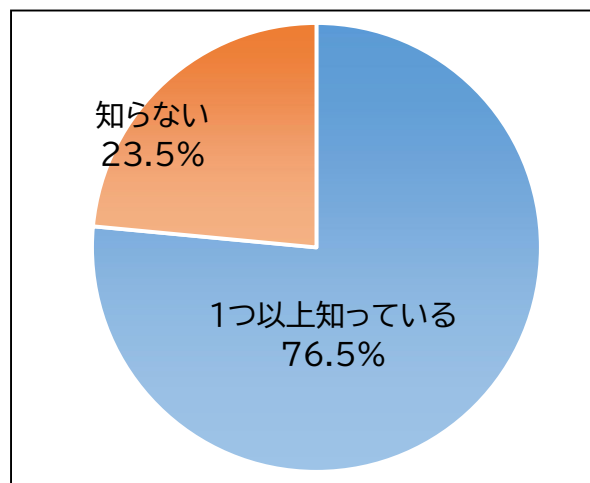
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 大津地域 | 62 | 24.7 |
| 湖南地域 | 68 | 27.1 |
| 甲賀地域 | 19 | 7.6 |
| 東近江地域 | 40 | 15.9 |
| 湖東地域 | 28 | 11.2 |
| 湖北地域 | 29 | 11.6 |
| 湖西地域 | 5 | 2.0 |
| 合計 | 251 | 100.0 |



☆地場産業について

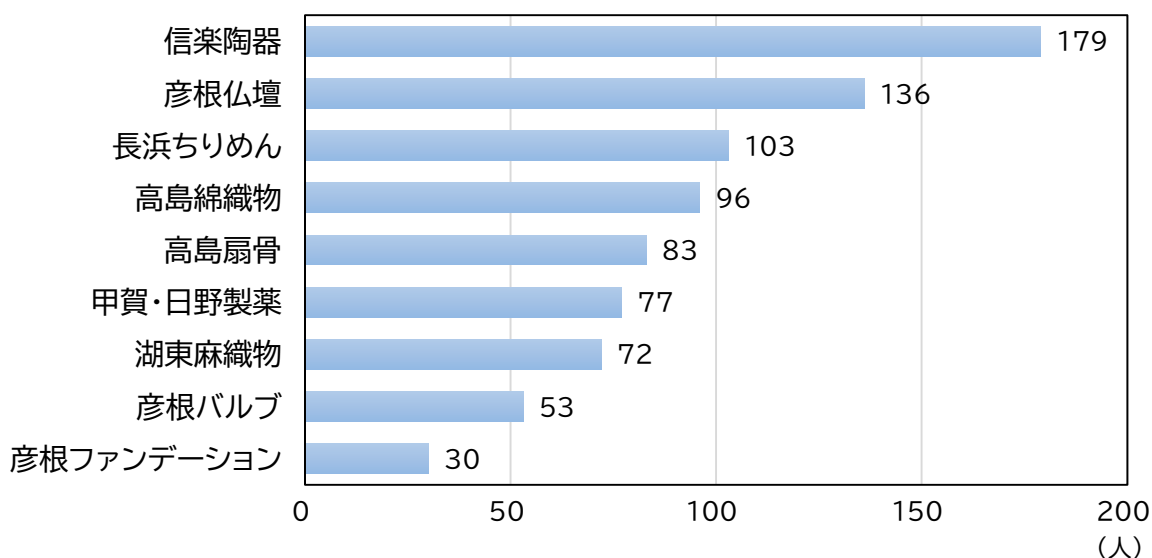
問1 滋賀県内にある9つの地場産業を知っていますか。(n=251)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------|-------|-------|
| 1つ以上知っている | 192 | 76.5 |
| 知らない | 59 | 23.5 |
| 合計 | 251 | 100.0 |



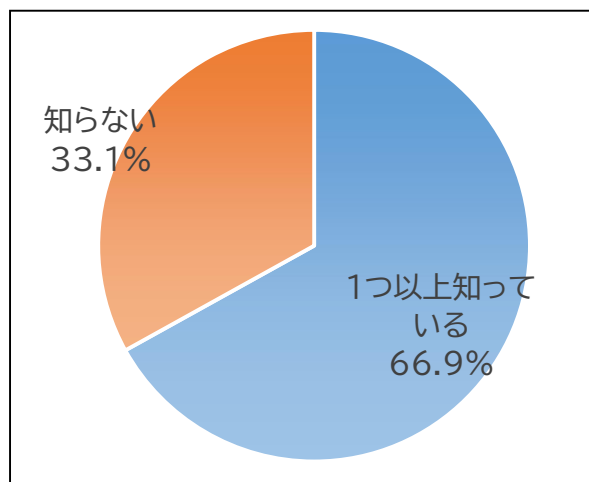
問2 問1で「1つ以上知っている」を選択された方におたずねします。あなたが知っている地場産業を選択してください。(複数回答可。n=192)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|------------|-------|-------|
| 信楽陶器 | 179 | 93.2 |
| 彦根仏壇 | 136 | 70.8 |
| 長浜ちりめん | 103 | 53.6 |
| 高島綿織物 | 96 | 50.0 |
| 高島扇骨 | 83 | 43.2 |
| 甲賀・日野製菓 | 77 | 40.1 |
| 湖東麻織物 | 72 | 37.5 |
| 彦根バルブ | 53 | 27.6 |
| 彦根ファンデーション | 30 | 15.6 |



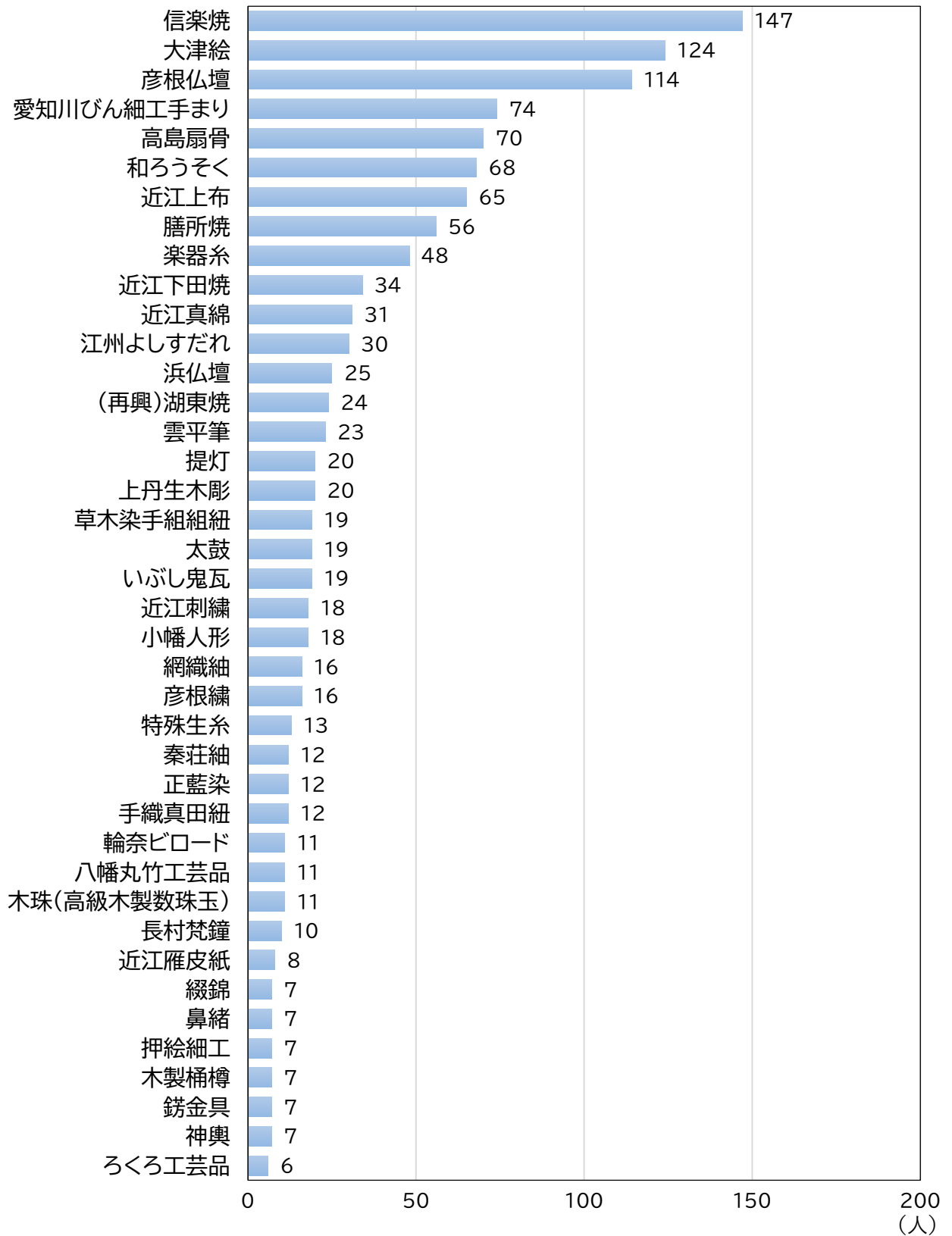
問3 滋賀県内にある伝統的工芸品を知っていますか。(n=251)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------|-------|-------|
| 1つ以上知っている | 168 | 66.9 |
| 知らない | 83 | 33.1 |
| 合計 | 251 | 100.0 |



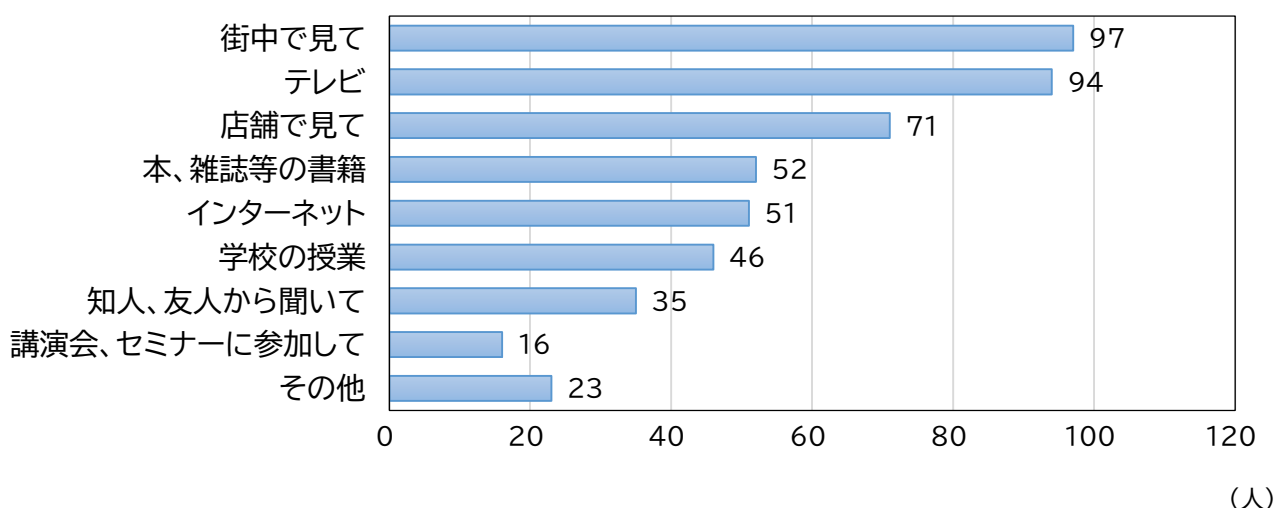
問4 問3で「1つ以上知っている」を選択された方におたずねします。あなたが知っている伝統的工芸品を選択してください。(複数回答可。n=168)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) | 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|------------|-------|-------|-------------|-------|-------|
| 信楽焼 | 147 | 87.5 | 近江刺繍 | 18 | 10.7 |
| 大津絵 | 124 | 73.8 | 小幡人形 | 18 | 10.7 |
| 彦根仏壇 | 114 | 67.9 | 網織紬 | 16 | 9.5 |
| 愛知川びん細工手まり | 74 | 44.0 | 彦根織 | 16 | 9.5 |
| 高島扇骨 | 70 | 41.7 | 特殊生糸 | 13 | 7.7 |
| 和ろうそく | 68 | 40.5 | 秦荘紬 | 12 | 7.1 |
| 近江上布 | 65 | 38.7 | 正藍染 | 12 | 7.1 |
| 膳所焼 | 56 | 33.3 | 手織真田紐 | 12 | 7.1 |
| 楽器糸 | 48 | 28.6 | 輪奈ビロード | 11 | 6.5 |
| 近江下田焼 | 34 | 20.2 | 八幡丸竹工芸品 | 11 | 6.5 |
| 近江真綿 | 31 | 18.5 | 木珠(高級木製数珠玉) | 11 | 6.5 |
| 江州よしすだれ | 30 | 17.9 | 長村梵鐘 | 10 | 6.0 |
| 浜仏壇 | 25 | 14.9 | 近江雁皮紙 | 8 | 4.8 |
| (再興)湖東焼 | 24 | 14.3 | 綴錦 | 7 | 4.2 |
| 雲平筆 | 23 | 13.7 | 鼻緒 | 7 | 4.2 |
| 提灯 | 20 | 11.9 | 押絵細工 | 7 | 4.2 |
| 上丹生木彫 | 20 | 11.9 | 木製桶樽 | 7 | 4.2 |
| 草木染手組組紐 | 19 | 11.3 | 銚金具 | 7 | 4.2 |
| 太鼓 | 19 | 11.3 | 神輿 | 7 | 4.2 |
| いぶし鬼瓦 | 19 | 11.3 | ろくろ工芸品 | 6 | 3.6 |



問5 問1や問3で「1つ以上知っている」を選択された方におたずねします。地場産業や伝統的工芸品を知ったきっかけを教えてください。(複数回答可。n=210)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------|-------|-------|
| 街中で見て | 97 | 46.2 |
| テレビ | 94 | 44.8 |
| 店舗で見て | 71 | 33.8 |
| 本、雑誌等の書籍 | 52 | 24.8 |
| インターネット | 51 | 24.3 |
| 学校の授業(小・中・高・大・その他) | 46 | 21.9 |
| 知人、友人から聞いて | 35 | 16.7 |
| 講演会、セミナーに参加して | 16 | 7.6 |
| その他 | 23 | 11.0 |

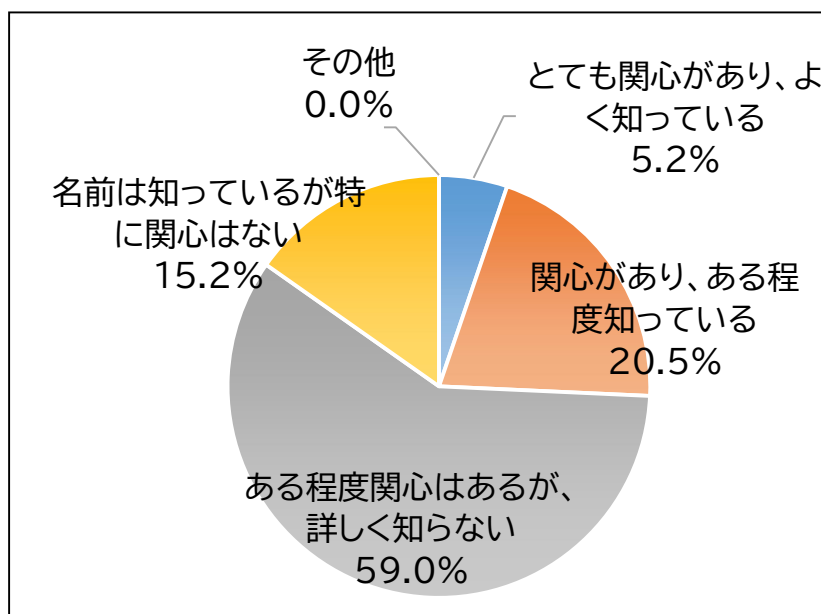


(その他の具体的な内容)

- ・去年のモニターアンケートで知ってから調べました
- ・昔から一般常識として知っていた
- ・大津絵について、お菓子(あられ)の包み紙に描かれていたこと、また人気の映画「国宝」の原作小説にちらっと出てきたことで知りました。
- ・家に小さい信楽焼のたぬきがあるなど、日常生活の中で何となく知っている
- ・イベントの展示ブースで見て
- ・主に小学校入学前～小学生の期間が多く、中学生、高校生の頃も少し両親に職人さんの居るところに見学に連れて行っていただいた。その他、工場見学会など。
- ・新聞記事、広報、フリーペーパーなど。
- ・職場での勉強会で知りました
- ・以前に地場産業に関係する仕事をしていたため

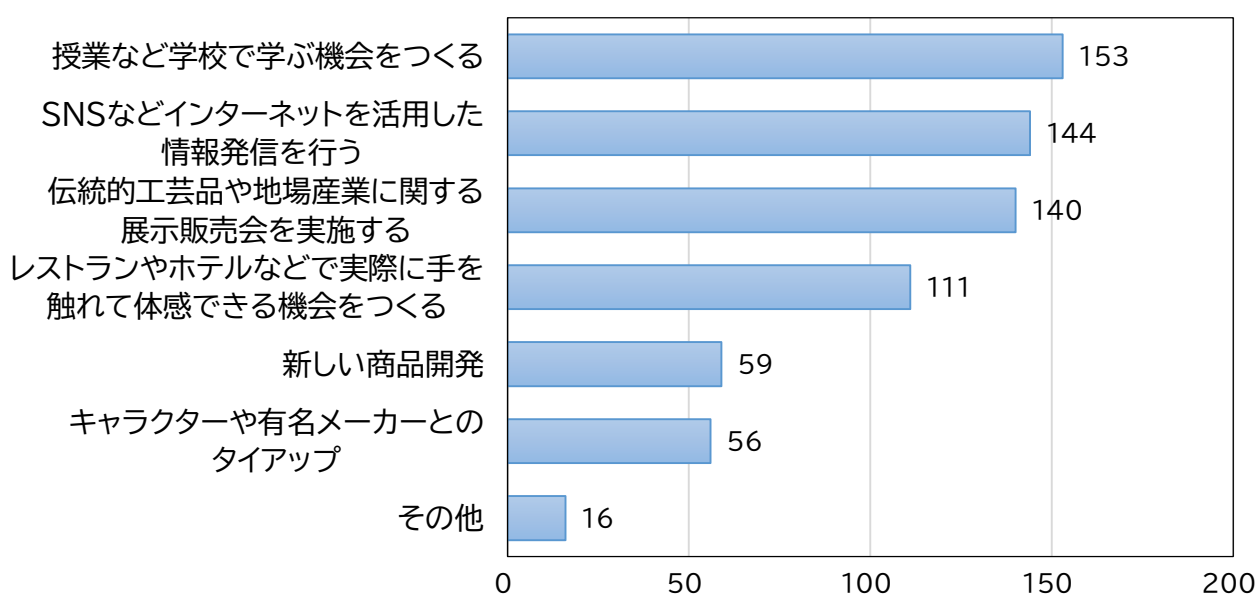
問6 問1や問3で「1つ以上知っている」を選択された方におたずねします。地場産業や伝統的工芸品に対する関心を教えてください。(n=210)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------|-------|-------|
| とても関心があり、よく知っている | 11 | 5.2 |
| 関心があり、ある程度知っている | 43 | 20.5 |
| ある程度関心はあるが、詳しく知らない | 124 | 59.0 |
| 名前は知っているが特に関心はない | 32 | 15.2 |
| その他 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 210 | 100.0 |



問7 地場産業や伝統的工芸品について関心を持ってもらうには、どうすればよいと考えますか。(複数回答可。n=251)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------------------------------|-------|-------|
| 授業など学校で学ぶ機会をつくる | 153 | 61.0 |
| SNS などインターネットを活用した情報発信を行う | 144 | 57.4 |
| 伝統的工芸品や地場産業に関する展示販売会を実施する | 140 | 55.8 |
| レストランやホテルなどで実際に手を触れて体感できる機会をつくる | 111 | 44.2 |
| 新しい商品開発 | 59 | 23.5 |
| キャラクターや有名メーカーとのタイアップ | 56 | 22.3 |
| その他 | 16 | 6.4 |



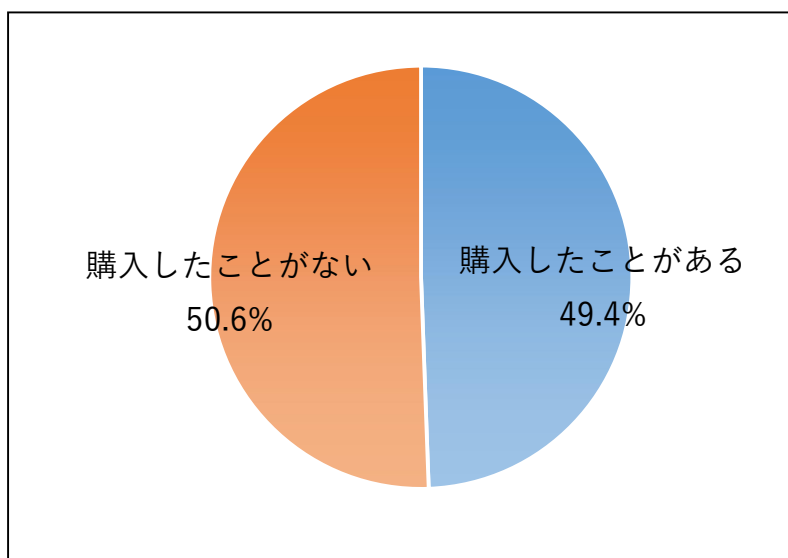
(その他の具体的な内容)

(人)

- ・伝統文化の歴史の中で磨かれた技術を理解して、継続していく環境を整える。また、マッチングをする体験型の職業選択を勧誘するように、産業として社会に職業選択可能な継承問題の解決を目指す。
- ・住民向けと、観光客向けそれぞれの体験教室の企画。
- ・小規模なものでも良いので、専用の美術館や博物館などのすべての物産が展示販売されている拠点を作って、そこで展示・販売するようにしたら良いと思います。
- ・西川貴教さんのような有名人による宣伝や、テレビ、新聞等への売り込み、番組・記事での拡散
- ・人の目に触れる機会をどんどん増やしていく。デパートやコミュニティセンター、美術館、博物館、歴史博物館での展示。
- ・普段使いができて手軽に購入できる商品で良いものを実感してもらい、継続して使ってもらえるようにする。
- ・ボランティア参加した方へのお礼を伝統的工芸品にする等、手にとって気軽に体感出来る機会を増やす。
- ・県や市町村のホームページで特産品として紹介し、プレゼントとして手軽に購入できると嬉しい。

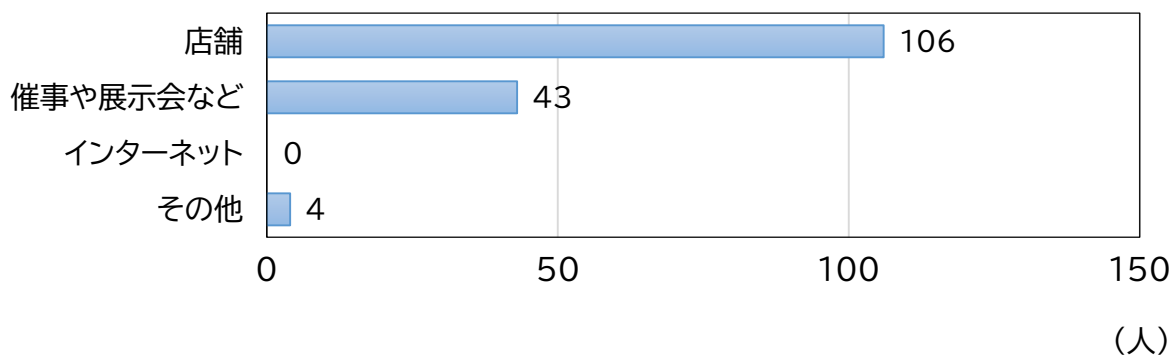
問8 あなたは、今までに県内の地場産業の製品や伝統的工芸品を購入したことがありますか。
(n=251)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------|-------|-------|
| 購入したことがある | 124 | 49.4 |
| 購入したことがない | 127 | 50.6 |
| 合計 | 251 | 100.0 |



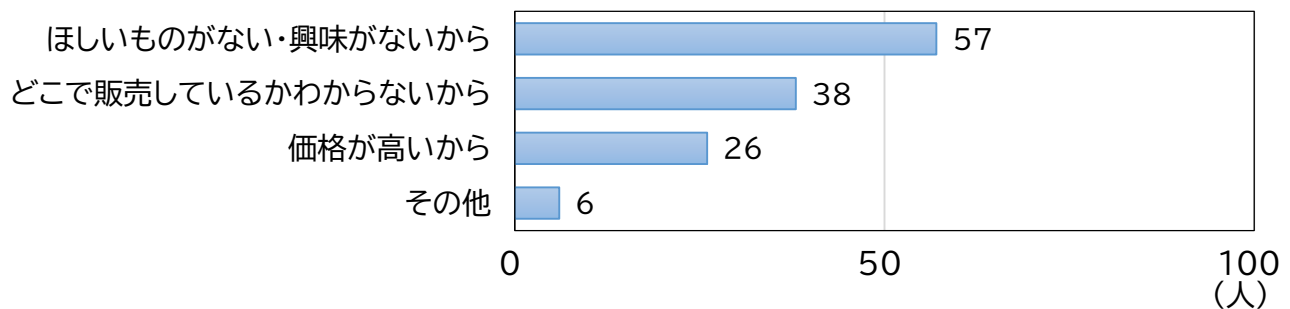
問9 問8で「購入したことがある」と回答された方におたずねします。どこで購入されましたか。(複数回答可。n=124)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 店舗 | 106 | 85.5 |
| 催事や展示会など | 43 | 34.7 |
| インターネット | 0 | 0.0 |
| その他 | 4 | 3.2 |



問 10 問8で「購入したことがない」と回答された方におたずねします。購入したことがない理由として、もっとも当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ。n=127)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------|-------|-------|
| ほしいものがない・興味がないから | 57 | 44.9 |
| どこで販売しているかわからないから | 38 | 29.9 |
| 価格が高いから | 26 | 20.5 |
| その他 | 6 | 4.7 |

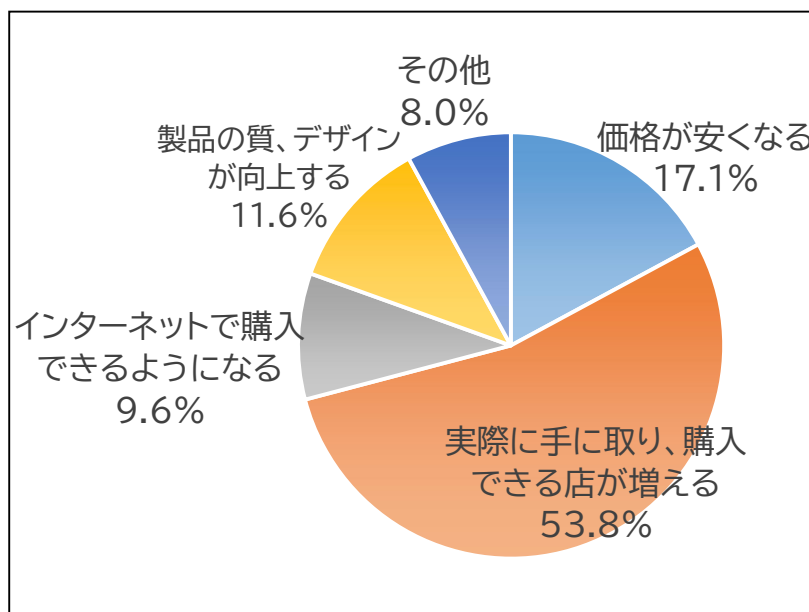


(その他の具体的な内容)

- ・購入する機会がなかったから
- ・日常の生活や個人的趣味興味などで、どうしても必要で欲しいものなら高価でも買うかもしれない。自分の生活に欠かせないと言うわけではないので購入したことがない。
- ・そもそも、存在自体を知りませんでした。でも、存在を知っていても高そうなイメージでなかなか手が出せないのでは。と思っています。

問 11 どのようにすれば、もっと地場産業の商品や伝統的工芸品を購入してもらいやすくなると思いますか。もっとも当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ。n=251)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------|-------|-------|
| 価格が安くなる | 43 | 17.1 |
| 実際に手に取り、購入できる店が増える | 135 | 53.8 |
| インターネットで購入できるようになる | 24 | 9.6 |
| 製品の質、デザインが向上する | 29 | 11.6 |
| その他 | 20 | 8.0 |
| 合計 | 251 | 100.0 |

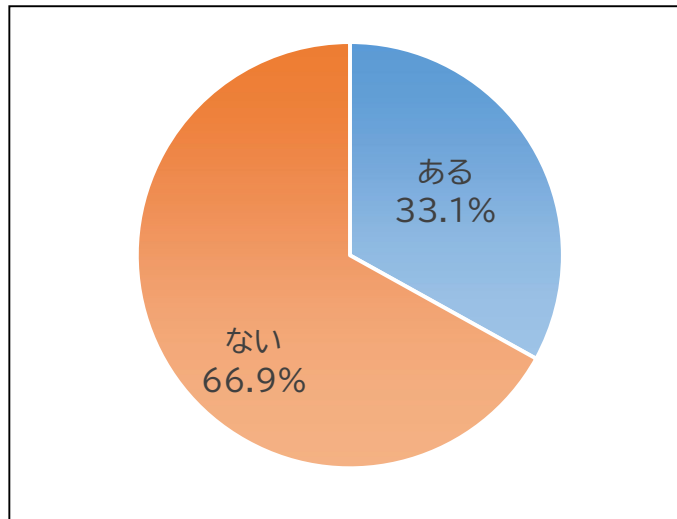


(その他の具体的な内容)

- ・商品としての魅力度を高めることの実践について土壌造りを進める。製品としての伝統文化より学ぶ歴史と現代社会との接点を感じる事で、商品開発を進める。伝統文化を守っていく事意義や必要性を感じる事。
- ・伝統を守るのも良いが、現在に馴染む、現在の生活空間に合ったデザインや使い所のあるものがあれば良い。飾るだけのもの、特殊な場面しか使わないものは購入しにくいと思います。
- ・何が地場産業か具体的に分かりやすい例題も無く、展示場や販売店も知らない。大津もしくは彦根で観光案内所に展示し販売すべき。見せない買わせない作法が客を遠ざけている。
- ・商品の背景の説明や納得や感動など、買いたいと思わせるようなストーリーがあると購入したい。
- ・インターネットでの紹介は最重要です。実際に手に取り購入できる所を増やし、目にする機会が増えること、下記の高さを味わえることが重要と考えます。更にアイデアが芽生えたり膨らんだりする恩恵が期待できます。
- ・価格は下げるべきじゃないと思います。所得が上がれば買いたいです。
- ・身近なところにありふれているようにする

問12 あなたは、今までに県内で開催された地場産業や伝統的工芸品の展示・販売会に行ったことがありますか。(n=251)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----|-------|-------|
| ある | 83 | 33.1 |
| ない | 168 | 66.9 |
| 合計 | 251 | 100.0 |



問13 地場産業および伝統的工芸品に関してご意見等がございましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・住んでいる街の地場産業や伝統的工芸品を知らずに驚きました。町内を知らないのに市外を知るはずもなく、これを機に知りたいと思います。
- ・販売場所がわからないものが多く、欲しくても店探しなど手間がかかります。ネット販売は有効かと思います。実店舗の案内も掲載して、興味を持たれた方を引き寄せるのはどうか。
- ・価格、デザイン共に、現代の若者にとって、魅力的な商品開発に取り組むべき。
- ・地場産業の工程などを見学するツアーなどがあれば参加したいです。
- ・大津絵は学校の授業で子供が作ってきました。もっとそういう機会を増やして欲しい。
- ・信楽焼を現地で体験し、その場で購入したことがあります。体験してから作品を見ると、単なる「商品」ではなく、自分の時間や思い出が重なった特別なものを感じられました。体験と観光がセットになることで、その土地の風景や空気、人との会話も含めて記憶に残り、愛着も深まります。地場産業や伝統的工芸品は、体験型の取組を通じて価値がより伝わり、次世代にもつながっていくのではないかと思います。
- ・彦根仏壇や高島扇骨などはテレビの情報でよく知っています。やはりもっとインターネットでのアピールが必要だと思います。まず県民に強くPRしてほしいです。
- ・滋賀の地場産業や伝統的工芸品について、正直なところ詳しく知る機会がありません。現状ではキャラクターとのコラボレーションを行っても、キャラクターに魅力を感じる層が必ずしも工芸品そのものの価値に関心を持つとは思えず、効果には疑問を感じる。鯖江の眼鏡産業のように、産業が生まれた背景や地域との関わり、長い歴史の中で培われた技術や強みなどを丁寧に説明し、まずはその価値を納得してもらうことが重要だと考える。その上で、その物語に合った人物やキャラクターとコラボするのであれば意味があると思う。まずは何がどのような産業・工芸なのかを分かりやすく伝える説明が必要であり、見た目のおしゃれだけを強調した SNS 発信は逆効果になりかねない。背景や魅力を短い動画などにまとめ、見た人の心に残る発信ができればよいと考えています。
- ・百貨店等人が集まる場所で、展示即売会をすると良いと思う。
- ・人の目に触れないと知ってもらえないので、特に県民以外の方が来る、ホテルや道の駅などにおしゃれっぽく置かれたらどうでしょうか。
- ・今回アンケートを通して、滋賀には様々な工芸品があることを知った。今まで知らなくて本当にもったいなかったと思う。滋賀県内の唯一の新幹線の駅、米原駅の近くに住んでいるが、この交通の分岐点をもう少し活用して、工芸品の展示や販売ができれば良いと思う。
- ・滋賀にこんなにたくさんの地場産業製品があると思いませんでした。たくさんの方に知ってもらう必要があると思います。また担い手の方々に金銭面などで負担とならないように、行政で支援や工夫してもらえれば良いと思います。日本人が作るものは細かく配慮がなされて、他国に負けない品で素晴らしいと思います。伝統的工芸品が次世代にも繋がるようになれば良いと思います。
- ・やはり担い手の問題があると思う。県や市町と地域が協力して、伝統を守り続けてほしいと思う。
- ・単なる産業振興ではなく、「人を育て、地域を元気にし、次世代に残す文化的インフラ」として捉える視点が大切だと思います。

